



会より さくら だより

第49号 2018年7月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>

【特集】介護老人保健施設ケアセンター南大井

介護老人保健施設は、日常生活の介護を受けながら、『在宅復帰・在宅支援』を目指し、リハビリをする施設です。

病院から退院の話が出た時や、在宅生活を続ける中で生活動作の維持をしたい、または、介護者が休養したいと思う時などに利用できます。

具体的な利用目的は、日中独居になるために、自分でできる薬の管理方法を身につけたい、自宅に戻るために必要な階段昇降のリハビリをしたい、自宅の環境を整え、リハビリをすること、自力でトイレを使用できるようにしたい・・・など、個々異なりますが、当施設には、専門的知識を持った職員(※)が揃っておりますので、ご利用者一人ひとりのニーズに合わせて、多職種が丸となって、時には専門的な視点からサポートをすることが出来ます。



正面玄関



リハビリの様子

入所時には、入所の窓口となる相談員が皆様のご要望を丁寧にお聞きします。その上で、今できること、工夫すればできることを探り、入所中のサービスに役立てます。入所期間は3ヶ月に限ることなく、ご利用者やご家族の意向に沿って柔軟に対応します。

今年で19年目となる当施設は、これまでの経験を生かしながら、今後も職員一同、地域、ボランティアの皆さんとともに、皆様から選ばれる施設を目指してまいります。

※介護士、介護支援専門員、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士、事務職



ともにご自宅での環境に合わせたレイアウトにしています。



パソコンを居室に設置し、株の動向をチェックするご利用者(日課)



ご自身で洗濯をされるため、物干し竿を部屋に設置しています。

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者たちとさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。



常務理事 江部 信夫

今年4月からさくら会の常務理事を務めさせていただいている江部信夫です。品川区役所在籍中は高齢者福祉の仕事をしていました。

趣味はウォーキングと野球・サッカーの観賞です。今年行われるサッカーワールドカップを楽しみにしています。

さくら会が品川区内で運営している南大井・大井林町・西五反田の3つの高齢者複合施設が今後増々多くのご利用者に喜んでいただけるよう、職員一同力を合わせてがんばりますのでどうぞよろしくお願いたします。

総務部

事務職 高見 理佐

1月より、総務部で請求担当をしております高見理佐です。モットーは「人生に無駄な事など一つもない。無駄ではなく経験と思え」です。どうぞよろしくお願致します。



総務部

事務職 関澤 由紀子

4月付けで、総務部会計担当になりました関澤由紀子です。出納担当となりましたので、できるだけ早く皆さんのお顔とお名前を憶えていきたいと思えます。宜しくお願致します。



ケアセンター南大井

介護職 宇山 慎悟

4月からケアセンター南大井3階で働くことになりました宇山慎悟です。利用者と楽しい時間を過ごしながら一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。



南大井在宅サービスセンター

介護職 濱田 恵子

子供が鈴ヶ森小学校に通っています。毎日「ママお仕事頑張つてネ」と言ってくれるのを励みに頑張っています。宜しくお願いたします。



職員紹介

常務理事と新規採用の職員をご紹介します。

ケアセンター南大井

介護職 早坂 恵子

2月に、老健に入職しました。今まで特養での経験はありますが、老健は初めてで、戸惑うこともありますが、初心にかえって頑張りたいと思えます。よろしくお願いたします。



南大井在宅サービスセンター

介護職 江上 知子

デイサービスでの勤務は初めてですが、笑顔と感謝の気持ちを大切に、皆様に喜んで頂けるよう頑張ります。よろしくお願致します。



南大井訪問看護ステーション

看護職 長澤 春代

5月15日より南大井訪問看護ステーションに入職致しました。訪問看護は初めてですが、今までの経験を生かし頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



さくら会ヘルパーステーション

介護職 金城 恵

1月にヘルパーステーションに配属になりました。訪問介護の経験はありますが、サービス提供責任者のお仕事は初めてです。奮励努力の精神でがんばります。



地域の皆様の馴染みの場所

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム（通称大井林町倶楽部）では、ご利用者が長年営んでいた店舗をお借りして、地域の皆様が立ち寄り、井戸端会議ができるような新たな場所作りに取り組んでいます。昨年度より二度その店舗を集いの場として開放していただきました。



元店主のご本人も、顔なじみの方が足を運んでくれることを喜ばれていました。お茶を飲みながら、会話を楽しんだり、運動不足の解消にと簡単な体操も行いました。

ご利用者が培ってきた「つながり」を大切にしながら、可能な限り「地域の中で暮らし続ける」ことを、地域の方の協力を得ながら応援しています。

地域の皆様の馴染みの場所となるよう、第三回目の開催を企画中です。

ご興味のある方、ご協力いただける方、大井林町倶楽部までお問い合わせください。

草むしり

品川区立大井林町高齢者住宅

5月2日水曜日、曇り空の下、春の草むしりを行いました。皆さん忙しい中「自分達が住んでいる所を綺麗にしたい」との思いもあり、初めて参加された方も含め、17名の入居者の方が参加され、沢山の雑草を取ることができました。草むしりの後は、入居者の有志で作った、おむすびとゆで卵・差し入れのお菓子とおイモを頂きました。「草むしりで汗を流した後の塩気の効いたおむすびは、とても美味しかった」と大好評。楽しいひと時を過ごす事ができました。



平成30年度新任研修〜3年後の自分へ〜

さくら会では年度初めに新人職員を対象とした研修を行っています。今年度から、職員の採用・育成・定着を目的とした先輩職員によるプロジェクトチーム「さくら未来プロジェクト」がカリキュラムのひとつを担当しました。内容は、法人の基本理念・行動指針を理解し、さくら会の職員として、3年後の自分の目標を立てることです。各々が私達の行動指針から、一番大切にしたいことを選びその理由を考え、グループで意見交換をしました。また、3年後の目標を集合写真に記し、タイムカプセルに詰めました。3年後、開封式が楽しみです。



受講者からは「理念と行動指針を知り、仕事に対する姿勢を新たに認識できた」「他部署の職員と交流し新鮮な経験ができた」「忙しく働く中で将来の自分を考える機会ができて良かった」等、気持ちが前向きになる力となったようです。目標に向かって皆で頑張りましょう！



夏の健康管理は「冷房病対策」から



「冷房病」「クーラー病」という言葉をよく耳にしますね。夏の暑い日、冷房がきいた部屋と外を頻繁に出入りしたり、冷房に長時間当たっていると、倦怠感・頭痛・食欲不振・身体の冷えなどの症状が出る場合があります。これは、急激な気温変化に体が対応できず、冷えのため自律神経系（交感神経・副交感神経）のバランスが崩れることによっておこる症状です。自律神経は体温調節や発汗などのコントロールをしているので、バランスが崩れると「冷え」に対しての抵抗力が弱くなり、冷えによっておこる様々な症状が「冷房病」と言われるものです。（冷房病という用語は俗語であり、医学的には自律神経失調症の一つとして診断されます）

冷房病の予防ポイント

- ☆エアコンの設定温度は25〜28℃を目安にし、寒さを感じないレベルにする
- ☆エアコンのきいた部屋と外気との温度差は3〜4℃が理想
- ☆エアコンの風には直接当たらないようにする
- ☆腹巻や厚手の靴下など、服装で自衛する
- ☆エアコンのきいた場所では温かい食べ物・飲み物を摂る
- ☆適度に体を動かし、血流の改善をはかる
- ☆シャワーより入浴（ぬるめのお湯にゆっくりと）
- ☆ストレスをためない（睡眠をしっかりとする）

もし冷房病にかかったと思ったら、まずは医師の診察を受け、それが本当に冷房に起因する自律神経失調症なのかをきちんと診断してもらうことが大切です。さらに、冷房病の発症には、不自然な生活習慣が深く関与していると考えられます。生活全般の見直しをして、生体リズムを正常なものへと修正していくことも大切です。



ティーパーティー

南大井デイサービスでは、毎年4月に、季節を感じるレクリエーションの一環として、4階庭園でティーパーティーを開催しております。

春の木漏れ日の中、普段外出が難しい利用者の方々に、紅茶とお菓子でおもてなし。

今年はいよいよ雰囲気を出すために、ティースタンドにお菓子を置いて、英国気分を味わっていただきました。庭園にはチューリップをはじめ、クンシラン、シャクナゲ、ハーブ、フジが咲き乱れる中、皆さん、昔行った旅行の話や友人との思い出話など四方山話に花が咲きました。

最後に、全員で記念撮影。

本当に素敵な笑顔の写真が撮れました。



平成29年度 ご寄付のお礼

平成29年度、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。さくら会の各事業に対し深いご理解、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。これからもさくら会職員一同、より一層努力してまいりますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



件数 58件
金額 176,003円

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。
〒140-0013 品川区南大井5-19-1
社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛
次回の発行予定は、平成30年10月です。

次回10月号は「理学療法士」浅沼 慎吾さんの登場です！



大井林町地域密着型多機能ホーム
介護職 鹿倉 萌美

Q1・・仕事の内容
・自宅安心して暮らし続けられるよう、通い、訪問、宿泊を組み合わせてご利用いただける事が当事業所の特性です。私は介護職として日々、ご利用者様のケアに当たっています。

Q2・・専門職として心掛けていること
・どんな時でも冷静に行動できるように。緊急時や多忙な時も、心に余裕を持って仕事をできるように心がけています。

Q3・・ご利用者、読者に向けてメッセージ
・十年間さくら会で仕事を続けてくることができました。支えてくださった皆様に感謝致します。有難うございます。今後もよろしくお願ひします。

連載NO.3

専門職に聞く